

発表場所：公益社団法人日本測量協会

発表日時：平成26年9月11日（木）（資料投げ込み）

解禁日時：平成26年9月12日（金）0時

公益社団法人 日本測量協会

平成 26 年度「空間情報総括監理技術者」

資格認定試験(第 10 回)に 31 名が合格

公益社団法人日本測量協会(会長 むらいしゅんじ 村井 俊 治)は、平成 26 年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の合格者を発表します。

今年度で合格者は 251 名になります。

本試験の結果は別紙 1.2 のとおりです。

○その他参考資料

資料 1 「空間情報総括監理技術者」資格について

資料 2 「空間情報総括監理技術者」認定試験の実施について

資料 3 「年度別合格者一覧」

資料 4 「登録対象の測量技術者資格」

○参考： ホームページ「空間情報総括監理技術者のページ」

<http://www.jsurvey.jp/gissv/gissv.htm>

(問い合わせ先)

公益社団法人 日本測量協会 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-4

測量継続教育センター 測量技術教育部長 高橋保博 電話 03-5684-3355

甘楽 実

平成 26 年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の結果

公益社団法人日本測量協会は、国土管理の業務を効果的に遂行するため、空間情報分野の高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、空間情報を利活用するための製品・品質仕様の策定、運用管理の立案を行うに十分な能力を有する技術者を認定する空間情報技術委員会（現委員長 東京大学大学院 教授 清水 英範^{しみず えいはん}）を設置し平成 26 年度の「空間情報総括監理技術者」資格認定試験を実施しました。

平成 26 年度認定試験には 112 名の応募があり、書類審査の結果、102 名が筆記試験を受験（当日 5 名欠席）しました。

筆記試験（7 月 26 日（土）に実施）に合格し、かつ、面接試験（9 月 6 日（土）に実施）にも合格した最終の合格者は 31 名であり、17 年から 26 年の合格者を合せると 251 名になります。

合格者は登録を済ませると、日本測量協会の「地理空間情報専門技術者」の上位クラスの技術者として、日本測量協会会長が認定します。

本資格の有効期間は 5 年で、資格の更新には、日本測量協会が実施する「測量技術者継続教育証明制度（測量 CPD）」（平成 26 年 8 月末現在の登録者数 17,908 人）の所定の CPD ポイントの取得が条件となります。

公益社団法人日本測量協会は、空間情報技術に関する各種提案型入札業務の指名の際に、この「空間情報総括監理技術者」が活用されるよう関係機関に働きかけておりますが、これまでに、国土地理院の一般競争入札、一般財団法人日本建設情報総合センターの一般公募入札、地方公共団体の都市計画図作成業務委託や道路台帳整備業務において当該有資格者が管理技術者等として活用されております。また、平成 23 年度には国土地理院から「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格登録要領の規定」に基づく測量技術者資格の登録基準に適合すると認められ、その認定資格として空間情報総括監理技術者が登録されました。

今後、ますます地理空間情報活用推進基本法の関連業務に適合する資格として、各種の空間情報整備事業においても更なる活用が期待されています。

〈筆記試験問題〉

平成 20 年度から公表している空間情報総括監理技術者資格認定の筆記試験問題は、今年度は平成 23 年度（第 7 回）に行われた筆記試験問題を公表します。

◆ 合格者	31 名
◆ 合格率 (対・応募者数)	27.7.%
" (対・受験者数)	32%

合格者氏名

受験番号	氏 名	受験番号	氏 名
14-001	東山幸平	14-064	川上崇
14-006	木村光晴	14-067	戸村健太郎
14-015	中西正昭	14-069	杉森純子
14-024	伊藤裕	14-071	横井勇
14-026	吉岡達也	14-075	兼子隆右
14-028	崎山英杉	14-076	金久保豊
14-030	谷口理意	14-077	下鳴恒彰
14-031	本間克哉	14-081	富田進太郎
14-033	黒岩剛史	14-089	安海高明
14-034	礮部浩平	14-090	板野友和
14-038	小出和政	14-097	坂元光輝
14-040	清水啓治	14-101	西村修
14-042	小林浩	14-104	青木一也
14-052	芝隆	14-106	鈴田裕三
14-056	澤陽之	14-107	熊谷孝之
14-059	植木健一		

1. 応募者 112 名
 この内、
 書類審査による受験資格の条件を満たした者 102 名
 受験資格の条件を満たさなかった者 10 名
2. 筆記試験 (7月26日(土)実施)
 受験資格者 102 名
 受験者 97 名 (棄権者 5名)
 合格者 31 名
3. 面接試験 (9月6日(土)実施)
 受験資格者 31 名
 受験者 31 名
 合格者 31 名

「空間情報総括監理技術者」資格について

公益社団法人 日本測量協会

「空間情報総括監理技術者」認定資格制度は、平成 17 年 3 月 16 日に創設され、平成 17 年度から実施しています。

「空間情報総括監理技術者」資格は、測量の技術領域が空間位置と関係づけられた様々な情報を扱う技術へと発展し、また、利用される領域が国土から社会生活にいたるまでの広がりを見せていることを背景にして、空間情報の関連事業の企画・提案・監理の能力を有する技術者を社会的に認定するための制度です。「空間情報総括監理技術者」は、日本測量協会の「地理空間情報専門技術者」の上位クラスの技術者として、日本測量協会会長が認定します。

1. 資格の目的

地物の位置定義に関わる測量の技術領域が、高度情報化時代において大きな広がりを見せています。測量技術がこれからの社会の要請に応えるには、空間的広がりを持つ地球上の位置と、それに直接的または間接的に関連付けられる様々な情報を扱う「空間情報技術」として捉えることが必要になってきました。

また、空間情報は、データの作成過程を明確にするだけでは調達するのが困難なため、使われ方（要求仕様）と、調達しようとするデータの仕様と品質（製品仕様、品質仕様）を定義することが重要です。このことから、空間情報の仕様策定、取得、構築から、システム運用、データのライフサイクルにわたる情報管理など、広範囲な技術を駆使できるスーパーバイザーが必要になっています。

このことを背景にして、国土管理に必要な様々な業務を効果的に遂行するため、空間情報分野に関する高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、かつ、空間情報を利活用する要求に対して、問題抽出・分析に基づく要求仕様の策定、製品・品質仕様の策定、運用管理の立案、様々な技術・技術者のコーディネート等の業務を行うに十分な能力を有する者を社会的に認定することを目的とします。

2. 求められる要件

空間情報総括監理技術者に求められる要件は、以下のとおりです。

① 要求仕様の策定ができること

行政が事業を行う場合に、現状の課題を発見し、課題の解決に空間情報の適用が有効か否かを判断し、発見された課題を詳しく分析・明確化することにより、業務に必要な空間情報の仕様と空間情報を利用する場合の効果を提示する能力を有すること

② 製品仕様・品質仕様の策定ができること

業務の課題解決に必要なデータやシステムの設計ができること

③ 運用管理を立案し、業務を遂行できること

構築された空間情報を継続的に利活用するために、システムとデータの維持管理方法を立案し、様々な技術・技術者をコーディネートして、適切な事業を行うことができること

3. 有資格者の活用

国土交通省(本省)、国土地理院、地方整備局、地方農政局、森林管理局、独立行政法人、一般財団法人日本建設情報総合センター(JACIC)および地方公共団体が発注する提案型業務等における評価要素の一つとして有資格者を活用していただいています。さらに、今後とも空間情報関連事業を計画する計画機関が発注する提案型業務等における評価要素の一つとして活用されるよう働きかけます。

4. 受験資格

受験資格は、次のすべての条件を満たすものとします。

- ①測量士の資格を有すること
- ②技術士の資格または博士の称号、または、これらと同等の能力を有すること
- ③空間情報関連業務に15年以上従事し、かつ、当該業務の責任者を2回以上経験していること

5. 認定試験

筆記試験及び面接試験を行い、以下の能力を判定します。

- ① 空間情報技術に関連する知識および経験を有しているか
- ② 空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力を有しているか
- ③ 業務を遂行できる人格・責任感・リーダーシップを有しているか

受験資格、願書配布、願書受付、受験料等の詳細内容が決まり次第、機関誌『測量』および当協会ホームページ(<http://www.jsurvey.jp/>)でお知らせします。

[問い合わせ先]

問い合わせはEメールにてお願いします (geoinfor@jsurvey.jp)

公益社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 測量技術教育部

空間情報総括監理技術者資格認定試験の実施について

公益社団法人日本測量協会の定款第4条に定める事業のうち、空間情報総括監理技術者の資格認定試験を、次のとおり実施します。

平成26年4月1日

公益社団法人日本測量協会 会長 村井俊治

1. 試験の実施日時

筆記試験 平成26年7月26日（土）
午後1時30分から午後4時30分まで
面接試験 平成26年9月6日（土） 時間は筆記試験合格者に通知

2. 試験の場所 東京都（筆記・面接とも）

3. 受験願書の受付期間

平成26年6月1日（日）から平成26年6月30日（月）まで
午前9時から午後5時まで（ただし、土日休日を除く）

4. 受験案内の入手方法及び受験願書の提出先

受験案内の入手方法 協会のホームページからダウンロード
受験願書の提出先 公益社団法人日本測量協会
測量継続教育センター 測量技術教育部

5. 合格発表

筆記試験合格 平成26年8月22日（金）
最終合格 平成26年9月12日（金）
協会のホームページに掲載

6. その他

受験についての詳細は、協会のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

【問い合わせ先】 問い合わせはEメールにてお願いします（geoinfor@jsurvey.jp）

公益社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 測量技術教育部
〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-4

「空間情報総括監理技術者」資格認定試験年度別合格者一覧

平成17年度		
	■ 応募者	72名
	■ 最終合格者	24名
	◆ 合格率(対・応募者数)	33.3%
平成18年度		
	■ 応募者	43名
	■ 最終合格者	24名
	◆ 合格率(対・応募者数)	55.8%
平成19年度		
	■ 応募者	50名
	■ 最終合格者	21名
	◆ 合格率(対・応募者数)	42%
平成20年度		
	■ 応募者	37名
	■ 最終合格者	21名
	◆ 合格率(対・応募者数)	56.8%
平成21年度		
	■ 応募者	53名
	■ 最終合格者	27名
	◆ 合格率(対・応募者数)	50.9%
平成22年度		
	■ 応募者	67名
	■ 最終合格者	25名
	◆ 合格率(対・応募者数)	40.3%
平成23年度		
	■ 応募者	84名
	■ 最終合格者	30名
	◆ 合格率(対・応募者数)	35.7%
平成24年度		
	■ 応募者	89名
	■ 最終合格者	24名
	◆ 合格率(対・応募者数)	27.0%
平成25年度		
	■ 応募者	93名
	■ 最終合格者	24名
	◆ 合格率(対・応募者数)	25.8%
平成26年度		
	■ 応募者	112名
	■ 最終合格者	31名
	◆ 合格率(対・応募者数)	27.7%

国土交通省国土地理院の請負測量業務における競争入札において入札参加者が有する技術的能力の評価を目的とした技術者の認定資格として登録されています。

◆登録対象の測量技術者資格

登録の対象とする測量技術者資格は、国土地理院測量業務請負業者選定事務処理要領第3条に基づく業務種別(基準点測量、写真測量、地図調製又は地理調査)に関連する測量技術者資格とする。

◆測量技術者資格の登録区分

業務種別	区分	測量技術者資格の概要
基準点測量 写真測量 地図調製 地理調査	A	測量計画の立案や工程管理等を適切に行える能力を有し、かつ測量技術に関して高度な知見を有する者を認定
	B	測量計画の立案、工程管理、品質管理等を総合的に適切に行える能力を有する者を認定
	C	測量計画や作業工程に沿って適切に作業を行える等、実務作業の総合的な能力を有する者を認定

◆登録した日本測量協会認定資格の名称(平成23年4月13日登録)

業務種別	区分	測量技術者資格
基準点測量	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 基準点測量1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 基準点測量2級
写真測量	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量1級
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量2級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS2級
地図調製	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS2級
地理調査	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量1級
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量2級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS2級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 防災調査
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 環境調査